

「次期愛知県産業労働計画（仮称）」（素案）のポイント

計画の基本的事項

- 「愛知県中小企業振興基本条例」に基づき、中小・小規模企業の振興に関する総合的な施策を示す。
- 次期あいちビジョンの個別計画として、2030～2040年頃の社会経済を展望し、目指すべき産業労働分野の姿を提示したうえで、その実現に向け2021年度から2025年度までに取り組む施策の方向性と主な施策を示す。

目標：世界に輝く国際イノベーション都市づくり

- 産業集積の礎となる中小・小規模企業の企業力強化や次世代産業の振興を図るとともに、誰もが安心して生きがいや働きがいを持って活躍できる環境づくり、産業を担う高度人材づくりを着実に進めていく。
- モノづくり産業の更なる集積を図るとともに、スタートアップと連携したイノベーションの創出等によるモノづくりとデジタル技術の融合など、愛知独自の成長モデル（愛知型成長モデル）を進化させ、更なる産業競争力の強化を図っていく。
- 国内外から企業や人材を呼び込む魅力や刺激のあるまちづくりを進めるとともに、地域のグローバル展開を図ることで、「産業首都あいち」として国際イノベーション都市づくりを進めていく。

目指すべき姿と施策の体系

当面の危機への対応

- まずは、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症による危機の克服と「新しい生活様式」に対応した緊急対策に全力で取り組む。
- 国際イノベーション都市づくりによる3つの目指すべき姿の実現に向け、6つの施策の柱を推進するとともに、6つの柱を下支えする取組として、1つの基盤施策を推進していく。

緊急対策：新型コロナウイルス感染症への対応

【緊急支援】

県融資制度等による資金繰り支援や就職説明会・企業説明会の開催など、事業の継続や就労及び雇用維持を支えるための施策

【強靱な経済構造の構築】

テレワークの導入支援や感染症対策に資する新サービス・新製品の開発支援など、「新しい生活様式」や将来の感染症リスクへの対応を目指す施策

【反転攻勢に向けた需要喚起】

市町村のプレミアム商品券発行事業への支援や購入型クラウドファンディングサイトの活用支援など、経済活動を安定的な成長軌道に戻すための施策

<3つの目指すべき姿>

- ①イノベーションが次々と生み出されるとともに、持続可能な社会を支える産業が展開する地域
- ②人や企業を呼び込み、世界的な交流・連携の拠点となる存在感のある地域
- ③誰もが自らの能力を高め・発揮し、安心して生きがいや働きがいをもって活躍できる地域

目指すべき姿に向けた施策展開

柱1：次世代産業の振興・イノベーションの創出

柱2：地域産業の活性化

柱3：観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上

柱4：グローバルな産業拠点機能の向上

柱5：誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

柱6：愛知の産業を担う人財力の強化

基盤施策：中小・小規模企業の持続的発展

6つの柱と1つの基盤施策

柱1: 次世代産業の振興・イノベーションの創出

- 強みであるモノづくりとデジタル技術を組み合わせた革新的技術の社会実装の推進
- オープンイノベーションを基本コンセプトとした愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成・充実

- ・次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進
- ・航空宇宙産業の振興 ・ロボット産業の振興
- ・革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備
- ・スタートアップ・エコシステムの形成促進

柱2: 地域産業の活性化

- 感染症や災害リスクを踏まえ、「地消地産」の視点が重要となる中、デジタル化や感染症の影響など、多様化する市場ニーズに適応した地域産業の活性化

- ・商業、サービス産業、地場産業の振興
- ・課題解決型産業（環境・新エネルギー産業、健康長寿産業）の育成
- ・農林水産業の振興

柱3: 観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上

- 県内や近隣県、国内観光を中心とした需要喚起及び感染症と共存する持続可能な観光の推進
- 「ジブリパーク」を始めとする大型事業・プロジェクトを活かし、「あいち観光戦略 2021-2023」に基づいた観光関連産業の活性化

- ・愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション
- ・ジブリパークやMICE、スポーツ大会を通じた誘客
- ・受入体制の整備・充実と観光交流拠点としての機能強化

柱4: グローバルな産業拠点機能の向上

- 感染症の影響下にあっても県内企業のグローバル展開を支えるための海外パートナーシップの強化
- サプライチェーンの見直しや東京一極集中の是正の動きを踏まえた立地環境の整備・研究開発機能の向上

- ・国際ビジネスの拡大支援
- ・立地環境の整備・企業誘致の推進
- ・研究開発機能の強化

柱5: 誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

- 誰もが自らの意欲に応じて、その能力を発揮し、生き生きと活躍できる環境づくりの推進
- 感染症を契機とした働き方改革の更なる推進及び雇用維持に向けた緊急的な施策の推進

- ・若者、女性、高齢者、障害者、外国人など、全員活躍に向けた環境づくり
- ・生き生きと働ける職場づくり
- ・感染症の拡大に対応した雇用維持や新規学卒者の就職への緊急的な支援

柱6: 愛知の産業を担う人財力の強化

- デジタル人材を始めとしたイノベーションを創出する人材や高度なモノづくり人材の育成
- 感染症の影響により地方への関心が高まる中で、国内外からの人材確保
- 自らの知識や能力を高めることができる環境づくり

- ・イノベーション人材の育成
- ・高度なモノづくり人材の育成
- ・国内外からの人材の確保
- ・キャリア教育・リカレント教育の推進

基盤施策: 中小・小規模企業の持続的発展

- 本県の産業経済と雇用、地域社会を支える中小・小規模企業については、感染症により深刻な影響を受けるとともに、デジタル化への対応など様々な課題を抱えていることから、社会の変化に柔軟に対応した経営革新を支援

- ・経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援
- ・デジタル技術の導入の支援
- ・人材の育成・確保の支援
- ・感染症や災害リスクに対応する取組の支援
- ・中小・小規模企業の魅力発信

目指すべき姿の実現に向けた先導プロジェクト

- プロジェクト1 「ステーションAi」を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成
- プロジェクト2 革新的技術の社会実装の推進
- プロジェクト3 「Aichi Sky Expo」を活用したMICEの誘致・開催
- プロジェクト4 中小・小規模企業におけるデジタル技術の導入の支援
- プロジェクト5 テレワークを始めとする多様で柔軟な働き方の促進